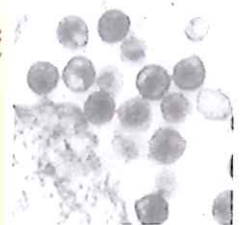


日本ウイルス学会後援 第16回ウイルス学夏の学校



みちのくウイルス塾

日時：平成29年7月15日（土）午後1時開講，16日（日）午前9時開講

場所：独立行政法人国立病院機構仙台医療センター 管理棟3階大会議室

〒983-8520 仙台市宮城野区宮城野2丁目8-8（JR仙石線，「宮城野原駅」下車徒歩1分）

参加費：無料

☆☆☆☆☆☆プログラム☆☆☆☆

7月15日（土）午後1時00分～5時00分

「開講のご挨拶」 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター院長 橋本省

1. 「昔のこと、今のこと」…自身の研究者としての生い立ちと、取り組み始めた新学術領域研究、ネオ・ウイルス学
東京大学医科学研究所感染・免疫部門 ウイルス感染分野教授 河岡 義裕
2. 「C型肝炎治療の進歩と今後の展望」…近年著しい成果をあげているC型肝炎治療の、基礎から臨床まで
東京医科歯科大学消化器内科・肝臓病態制御学講座教授 朝比奈 靖浩
3. 「研究の進展で見てきたノロウイルスの本当の姿」…ノロウイルス研究の目覚ましい進展と、自身開発の
オルガノイドによるノロウイルスの分離の話 北里大学感染制御科学府ウイルス感染制御学I教授 片山 和彦

4. 「ウイルス塾恒例 おさらいクイズ（前編）」 高得点で記念品ゲット！

獨協医科大学医学部・微生物学講座教授 増田 道明

終了後、6時～フリーディスカッションと懇親会（無料） 講演では聞けない裏話を聞くチャンス！

7月16日（日）午前9時～午後1時

1. 「エンテロウイルス71型感染における受容体の役割 —ウイルスを助ける受容体と邪魔する受容体—」
…強毒性のエンテロウイルス71型の毒性にかかわる因子の探索における、新発見のはなし

東京都医学総合研究所ウイルス感染プロジェクト主任研究員 小林 郷介

2. 「節足動物が生み出す次世代の抗菌物質」…H26年度日本細菌学会東北支部会、石田名香雄記念「北斗医学賞」受賞：マダニとボレリア・スピロヘータの共生に始まる抗菌剤の新たな開発研究

久光製薬株式会社筑波研究所研究員（東北大学農学部動物微生物研究室H28年度卒業生） 三好 就英

3. 「ウイルス社会学—ウイルスの社会システムを攪乱せよ！」…植物ウイルスの「社会性」と、それを標的とする感染防除法をめざした研究

東北大学大学院農学研究科植物病理学分野助教 宮下 脩平

4. 「ウイルス塾恒例 おさらいクイズ（後編）」 2日目も高得点を目指そう！

獨協医科大学医学部・微生物学講座教授 増田 道明

ウイルスについて知りたい方はどなたでも参加できます。講師にはできるだけ分かりやすい話をお願いしてあります。飛び入り参加も可能です。

宿泊場所が必要な場合は、仙台医療センター地域研修センター内の宿泊施設が利用可能です（無料，先着順）。ただし，相部屋（トイレ，風呂共用）。お問い合わせや宿泊施設の利用希望は，下記までどうぞ。連絡先：仙台医療センター・ウイルスセンターTel:022-293-1173, vrs.center@snh.go.jp

